武　一　中

令和元年６月１２日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ１－３号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

修学旅行を終えて

３学年主任　　青野　圭

中学３年生にとって中学校生活の中で一番大きな思い出となる修学旅行が、５月１７～１９日の三日間をかけて京都・奈良で行われました。天候にも恵まれ、京都・奈良にある日本の伝統文化を存分に味わってくることができた旅となりました。三日目の最終日、三鷹駅で最後の班チェックを終え、満面の笑顔で手を振りながら友達と別れていく姿を見て、この修学旅行が彼らにとって楽しく有意義な旅になったであろうことをとてもよく表していたように感じました。

今回の修学旅行は、中学校３年間を通した一つの集大成となる行事でした。宿泊数的には１年生次のセカンドスクールには及びませんが、セカンドスクールでは白馬村の JA の方に５日間のプログラムを設定して頂き、全ての活動には大人が常に側にいるものでした。２年生次の鎌倉校外学習では、班で考えたコースを雨に濡れながらも懸命に見学して回りましたが、それは一日のコースでした。今回は三日間全てのコースを自分達で考え、初めて訪れる土地で自ら考え判断しながら多くの史跡を班員と共に巡るというものだったのです。今まで積み上げてきた行事での成功体験を全て生かす。それが今回の修学旅行でした。その意味でも、今回の修学旅行は３年生が持っている力を生かし切ることができた素晴らしい旅になったと思っています。

３ 年生が体験した中で、学年全体で体験した学習が二つありましたが、それも思い出深いものになりました。一つは奈良薬師寺でのお坊様による説法体験。もう一つは京都南禅寺での坐禅体験でした。薬師寺での説法では、人が生きる良き有り様をおもしろおかしく説いて頂きました。笑いの絶えない説法で多くの生徒が感銘を受けているようでした。南禅寺での坐禅では、厳

しく自分と向き合うことで得られるものがあるということを体験できたようです。坐禅を組む静寂の中で自分自身としっかりと向き合えたのではないでしょうか。これら二つの体験では、自分を見つめ、正しく生きることの良さを知る道は一つではないということも教えて頂けたように思います。これも、日本がもつ素晴らしい文化の一つであるということを知るよい機会になったことと思います。また、これは英語科の課題にもなっていたことでした

裏面に続きます　→

が、観光に訪れている多くの外国の方に生徒が積極的に英語で話しかけている姿もたくさん目にすることができました。日本の文化に接するだけでなく、自分の視野を広く海外にも向けることが出来る国際交流、国際理解の実体験をすることができたのではないかと思います。かけがえのない大切な時間を持つことができたようでした。

京都・奈良は色々な姿を見せる、多様性のある場所だとも言われています。長い歴史の中で新しい文化や様式、思想や発想をどんどん取り入れていった場所です。進取の気性というものがある土地柄であったということもあるかもしれませんが、いつも日本文化の最先端にあった都市だったのだと思います。そうした歴史と伝統のある場所に足を運び、たくさんのことを体験、学習できたことは３年生にとって本当に素晴らしい経験になったことと思います。３年生が大人になり、また京都・奈良へ行ってみたい。日本の良さが味わえる旅をまたしてみたい。そう思うことができる、とてもよい修学旅行になったのではないでしょうか。こうした素晴らしい修学旅行ができたのも、保護者の方々の生徒へ温かい愛情とご協力のお陰だと思っております。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

第73回体育祭無事終了

天候が危ぶまれた体育祭でしたが、早朝からの準備で見事に予定通り（予定以上の！）体育祭を実施できました。

今年のスローガンは「限界突破～勝利を求む者となれ～」でした。これまで積み上げてきた練習の成果を発揮して、それぞれの競技で真剣に競い合いました。「まじめは、かっこいい」まさにこの言葉が表すように皆さんの真剣さやひたむきさは、かっこよく、見る者を感動させてくれました。

体育祭開催にあたっては、早朝よりおやじの会の皆様がグランド整備等のお手伝いをしてくださり大変助かりました。また、役員をはじめとしたＰＴＡの皆様にも様々なお手伝いをいただきました。ありがとうございました。